

## ■ 基本方針 ■

本市では、枚方市の『魅力』向上をめざした、新たな行政改革を進めるため、平成 24 年度に「枚方市新行政改革大綱」を策定し、併せて具体的な課題とその目標を示した「行政改革実施プラン」を定めたところです。

また、「健康医療都市」・「教育文化都市」という都市ブランドを活かした、魅力あるまちづくりを進めるため、平成 26 年度の中核市移行に向けて取り組んでいるところです。

1. 平成 25 年度は、新行政改革大綱及び行政改革実施プランをスタートさせる年であり、「改革・改善サイクル」の構築をはじめとする行政改革の各取り組みを着実に推進します。
2. 平成 26 年度の中核市移行を円滑に進めるとともに、これを踏まえた機構改革案を取りまとめます。

上記を最重点の取り組みとして、効率的・効果的な事務執行に努めます。

### 実績

- ・新行政改革大綱及び行政改革実施プラン「前期(平成 25 年度～平成 27 年度)」に基づく改革課題の達成に向けた取り組みに着手した(改革・改善サイクル、補助金の適正化に係る基準、民間活力活用業務の評価・検証を着実にやっていく)。
- ・庁内組織である地方分権推進委員会を適宜開催し、中核市事務の移譲に係る、実施担当課、整備する条例や規則などについて、総合的な調整を行うとともに、大阪府との事務引継ぎに向けた調整を行うなど、円滑な中核市移行の実現に向けた取り組みを行った。
- ・平成 26 年度の機構改革案を取りまとめ、中核市移行に伴う執行体制の整備や市政運営に係る重要施策の推進体制の整備を行った。

## I 重点施策・事業

### ◆「選択と集中」を実現する「新たな行政経営システム」づくりをめざす

新たな行政経営システムの一環として、各部が作成する「部の運営方針」を取りまとめ、市民・市議会への情報発信を行います。

この試行実施の結果を踏まえ、今後の新たな行政経営システムの構築に向けた取り組みを進めます。

### 実績

- ・平成 25 年 5 月に「平成 25 年度 部の運営方針」を試行として策定・公表し、各部における基本方針と重点施策・事業への取り組みなどを明らかにした。

### ◆機能的・横断的に行動できる、行政経営組織を構築する

中核市移行を踏まえ、「選択と集中」を進めるための総合調整機能の充実を含めた、平成 26 年度の機構改革案を取りまとめます。

### 実績

- ・平成 26 年度の機構改革案を取りまとめ、中核市移行に伴う執行体制の整備や市政運営に係る重要施策の推進体制の整備を行った。

◆事務事業の見直し・改善を進める仕組みづくりに取り組む

平成 24 年度に引き続き、「事務事業総点検」を実施するとともに、その成果と課題を踏まえ、新たな「改革・改善サイクル」を構築し、平成 26 年度から運用できるよう取り組みます。



平成 25 年度 事務事業総点検評価委員会議の様相

実績

- ・平成 24・25 年度で、全 1016 事業を対象に、点検・評価を実施した結果、「見直し」または「改善」とした事業については、前年度比で合計約 5000 万円（2 ヶ年度分）の当初予算削減効果が得られた。また、有識者の外部評価員による、客観的な検証・評価を行う過程で、公開ヒアリングを実施するなど、本事業に係る取り組みを通じ、職員の説明責任の履行及び改善・見直しへの意識向上を図ることができた。
- ・新たな「改革・改善サイクル」に係る骨子案を作成し、取り組みの方向性を明らかにした。

◆技能労務職員等の配置基準の見直しを行う

所管各部と連携し、技能労務職員の配置基準の見直しに取り組めます。

実績

- ・各業務所管部署における議論を経て、技能労務職が従事する業務の範囲及び内容に係る進捗状況の確認を行い、集約に向けての調整を行った。

◆新たな業務改善活動に係る仕組みづくりに取り組む

ISO9001 に代わる本市独自の品質マネジメントシステムと、再構築する職員提案制度を、平成 26 年度から運用できるよう、業務改善活動の仕組みづくりを進めます。

実績

- ・「新たな品質管理システム」の骨子案を作成し、市民との直接の接点となる窓口での業務に特化したシステムとして整理した。
- ・職員提案制度の見直しの一つとして、「新たな業務改善制度」を構築し、平成 26 年度から試行運用を行うこととした。

◆中核市への移行を推進する

中核市への円滑な移行を図るため、府と市間の総合調整を行うとともに、条例制定手続きなどが円滑に行われるよう取り組みます。

実績

- ・大阪府と本市の担当課との連絡調整を行うとともに、条例制定手続きや、事務引継ぎに向けた進捗管理を行うなど、円滑な中核市移行の実現に向けた取り組みを行った。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
5. 新たな情報提供サービスの開始	コールセンターの導入に向けた具体案を策定する。

実績

- ・コールセンターの導入に向けた考え方を取りまとめ、今後の取り組み予定などについて、一定の方向性を確認した。

改革課題	取り組み内容・目標
17. 部における「選択と集中」のシステムづくり	新たな行政経営システム構築の一環として作成する「部の運営方針」を取りまとめ、公表する。

実績

- ・平成 25 年 5 月に「平成 25 年度 部の運営方針」を試行として策定・公表し、各部における基本方針と重点施策・事業への取り組みなどを明らかにした。

改革課題	取り組み内容・目標
18. 機能的で柔軟な組織づくり	平成26年度の中核市移行を踏まえた機構改革案を取りまとめる。
<b>実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度の機構改革案を取りまとめ、中核市移行に伴う執行体制の整備や市政運営に係る重要施策の推進体制の整備を行った。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
21. 「改革・改善サイクル」の構築	事務事業総点検の結果を踏まえ、新たな「改革・改善サイクル」を平成26年度から運用できるよう、システムを構築する。
<b>実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな「改革・改善サイクル」に係る骨子案を作成し、取り組みの方向性を明らかにした。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
22. 補助金の適正化	補助金の定期的な見直しに関わる基準を作成する。
<b>実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「補助金の適正化に係る基準」の骨子案を作成し、チェック体制の構築に繋げていくこととした。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	外郭団体等の「経営プラン」の策定に向けて、各所管部と連携して取り組む。
<b>実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>外郭団体等の所管課と連携の上、各団体において「経営プラン」の策定に取り組まれるよう要請し、進捗管理を行うこととした。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
30. 都市間連携の充実	中核市移行後の共通の行政課題の解決に向け、府内の中核市などとの意見交換等を進める。
<b>実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府・中核市連絡会議や北河内都市連絡会議において、各市と情報収集や意見交換などを行った。引き続き、行政課題の解決に向けた都市間連携構築に向けた取り組みを進めることとした。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	セーフティネットの確保や業務の効率化等の観点から、技能労務業務の職員配置基準を見直す。
<b>実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各業務所管部署における議論を経て、技能労務職が従事する業務の範囲及び内容に係る進捗状況の確認を行い、集約に向けての調整を行った。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
35. 新たな業務改善活動の推進	業務改善の促進を図るため、ISO9001に代わる本市独自の品質マネジメントシステム及び新たな職員提案制度が平成26年度から運用できるよう、仕組みを構築する。
<b>実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「新たな品質管理システム」の骨子案を作成し、市民との直接の接点となる窓口での業務に特化したシステムとして整理した。</li> <li>職員提案制度のうち、「企画提案」について、提案の実現性を高めるため運用の一部を見直し、引き続き、実施するものとした。また、「実績提案」については、職場に根ざした業務改善を促進するため、「新たな業務改善制度」に再編し、平成 26 年度から試行運用を行うこととした。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
36. 民間活力活用業務の評価・検証の仕組みづくり	業務委託や指定管理者制度の導入を行った事業について、その効果・課題を評価・検証するための基本方針を策定する。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「民間活力活用業務の評価・検証の仕組みづくり」の骨子案を作成した。今後、さらに基本方針の策定に向けた検討を行っていくこととした。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
37. 指定管理者制度の導入拡大	伊加賀スポーツセンター、王仁公園・香里ヶ丘中央公園・中の池公園内のスポーツ施設への指定管理者制度導入に向けた所要の手続きを行う。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊加賀スポーツセンター及び都市公園有料施設(王仁公園・香里ヶ丘中央公園・中の池公園)への指定管理者選定を行い、導入の拡大を図った。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
44. 施設の使用料の見直し	市有施設の維持等に係る負担の公平性・受益者負担の適正化の観点から、施設使用料の設定基準に係る考え方をまとめる。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所管部における取り組みの進捗管理を行いながら、考え方について一定の整理を行った。今後、さらに設定基準を明らかにするための検討を行うこととした。</li> </ul>	

改革課題	取り組み内容・目標
44. 施設の使用料の見直し ①来庁者・利用者用駐車場	来庁者・利用者用駐車場の有料化に向け、関係部と連携して、基本的な考え方をまとめる。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方(案)」を取りまとめ、今後、可能な施設から順次有料化を実施していく取り組みを進めることとした。</li> </ul>	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
ISO9001 運用推進事務	これまでの取り組みを簡素化した暫定運用を行いながら、平成 26 年度から本市独自の品質マネジメントシステムが稼働できるよう、新たな仕組みを構築する。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「新たな品質管理システム」の骨子案を作成し、一層の市民満足度の向上を図るため、市民との直接の接点となる窓口での業務に特化したシステムとして整理した。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
職員提案推進事務	これまでの成果と課題を踏まえ、業務改善と施策立案の両面から、制度の再構築を行う。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員提案制度のうち、「企画提案」について、提案の実現性を高めるため運用の一部を見直し、引き続き、実施するものとした。また、「実績提案」については、職場に根ざした業務改善を促進するため、「新たな業務改善制度」に再編し、平成 26 年度から試行運用を行うこととした。</li> </ul>	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
事務の効率化に向けた電子文書の適正な管理	多岐にわたる事務を同時並行かつ効率的に進めていくにあたり、データファイルの管理を適正に行うための共通ルールを作成し、ミス発生リスクの低減を図る。

**実績**

- ・個人情報の保護を含めた電子文書の適正管理のためのルールを作成し、共有化することで、ミス発生リスクの低減を図った。
- ・文書分類毎にフォルダを作成し、ファイルに作成日付を記載する等、データファイルの管理の適正化を図った。

テーマ	取り組み内容・目標
朝礼・夕礼実施の徹底による各担当職員のスケジュールの共有化及び事務執行の効率化	所管事務の種別が多いことを踏まえ、週初めの朝礼時において、各担当者から1週間の予定を報告し、共有化を図る。 また、日々の朝礼・夕礼時に事務の進捗を共有することにより、事務執行の効率化や時間外勤務の縮減を図る。

**実績**

朝礼・夕礼時に事務の当面の予定や進捗状況を報告・確認し、職員間での情報を共有化することで、事務執行の効率化を図った。

**Ⅲ 予算編成・執行**

費用対効果の観点から、必要最小限の経費としました。主な変更点などは、以下のとおりです。

- ◆平成 24 年度事務事業総点検の結果等を踏まえ、ISO9001 運用推進事務を廃止し認証取得に係る更新審査手数料 84 万円を削減。

**実績**

- ・ ISO9001 運用推進事務を廃止し、認証取得に係る更新手数料 84 万円を削減した。
- ・平成 24 年度までの ISO9001 の取り組みを簡素化した暫定運用を行いながら、「新たな品質管理システム」の骨子案を作成し、一層の市民満足度の向上を図るため、市民との直接の接点となる窓口での業務に特化したシステムとして整理した。

- ◆中核市への移行に係る広報PR活動経費として 140 万 5000 円（別に債務負担行為「移行記念式典開催経費」として 59 万円）を計上。

**実績**

- ・中核市への移行に係る広報PR活動経費として 140 万 5000 円（別に債務負担行為「移行記念式典開催経費」として 59 万円）を計上した。

- ◆中核市への移行等に伴う必要経費の支援として、大阪府から市町村振興補助金の交付を受ける（平成 24 年度補助額は 5000 万円。平成 25 年度補助額は現時点で未定）。

**実績**

- ・平成 25 年度は、大阪府から市町村振興補助金として 4000 万円の交付を受けた。

## IV 組織運営・人材育成

◆平成 25 年度において、新たに取り組むこととなる事務が多いことも勘案し、担当職員が調査・検討した企画案について、部内の職員を対象としたプレゼンテーション形式により発表することで、より幅広く意見交換するとともに、知識・認識等の共有化につなげます。また、これを通じて、自ら学び育つことのできる自律型職員の育成を図ります。

### 実績

・事務の進め方等について、担当職員によるプレゼンテーションを実施することで、職員間の活発な意見交換を引き出し、その方向性と意識の共有化を図った。このことが、若手職員の育成にも繋がっており、今後、さらに取り組みを進めていくこととした。

◆事務の共同処理等の都市間連携強化を含め、新たな取り組みとなる事務やその課題についての調査・研究を進めるため、先駆的に取り組んでいる都市への視察や研修を行います。

### 実績

・新たな業務改善の取り組みに向けて、7月に福岡市及び名古屋市への視察を行うとともに、3月に各課長を対象とした説明会を実施し、平成 26 年度から新制度として取り組むこととした。  
・平成 25 年 5 月 31 日に、豊能地区（池田市、箕面市、豊能町、能勢町）共同処理センターの視察を行い、共同処理に係るメリットや課題などの研修を行い、共有化を図った。

◆特定の事務・時期に時間外勤務が集中する際などにおいて、課内や部内の事務応援を効果的に実施することにより、効率的な事務執行と時間外勤務の縮減を図ります。

### 実績

・事務のスケジュール管理を適確に行い、時間外勤務が集中すると想定される時期や中核市移行 PR イベントについて、課内や部内での事務応援を効果的に実施した。

## V 広報・情報発信

◆行政改革に関する情報発信

ホームページ等への掲載の際には、施策評価における意見も参考にしながら、取り組み内容だけでなくレイアウトなどの工夫を行うとともに、「行革かわら版」等の発行により、できるだけわかりやすい情報発信に努めます。

### 実績

・「行革かわら版」を 5 回発行し、行政改革の取り組みに関する情報をタイムリーに発信した。

◆中核市への移行に関する情報発信



中核市移行の意義やメリットなどを広く市民にお知らせするため、広報紙やホームページを通じた情報提供をはじめ、以下のような PR 事業を実施します。

- ・広報ひらかた特集号、「中核市ひらかた移行ニュース」発行
- ・窓口へのミニのぼり旗の設置、ポスター掲示
- ・公用車へのマグネット広告掲示
- ・職員による出前講座実施など

各部署の窓口等に設置する  
「ミニのぼり旗」

### 実績

- ・平成 25 年 6 月 20 日付けで「広報ひらかた中核市移行特集号」を発行したほか、市民向けに「中核市ひらかた移行ニュース」を 7 回発行し、中核市移行の意義やメリット、PR の取り組みなどを紹介した。
- ・平成 25 年 6 月から、市内の事業所などにミニのぼり旗やポスターを設置・掲出するとともに、公用車にマグネット式の車体広告を掲出し、PR 活動を展開した。
- ・イベント等に出向き、パネル展示や資料の配布など、中核市移行を説明した。また、11 月には俳優の辰巳琢郎氏を講師に招き記念講演会を開催した。
- ・出前講座を 9 回実施し、中核市制度や移行による効果を説明した。今後も、要請があれば適宜対応することとしている。